

山形交響楽団

定期演奏会

第208回
定期演奏会

2010.

11/20(土)・21(日)

◆ 20(土)19:00開演(18:15開場) ◆ 山形テルサホール
◆ 21(日)16:00開演(15:15開場)

J.コクトーと仲間たち

指揮：飯森範親 ソプラノ：中丸三千繪

イベール：室内管弦楽のためのディヴェルティメント

ミヨー：フランス組曲 作品248

プーランク：モノドラマ「人間の声」



20世紀前半の大詩人J.コクトーは芸術分野に膨大な足跡を残しました。作曲家達にも影響大で、今回は取り分け親しい関係を築いた3人の作品をお聴き下さい。プーランクのモノドラマは人間の心理の襞(ひだ)を描出する傑作。中丸三千繪の迫真の歌唱をお楽しみ下さい。

第209回
定期演奏会

2010.

12/18(土)

◆ 19:00開演(18:15開場) ◆ 山形県民会館

霧につつまれた音楽

指揮：藤岡幸夫 ヴァイオリン：二村英仁

ヴォーン・ウィリアムス：トマス・タリスの主題による幻想曲

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26

ウォルトン：交響曲 第1番 変ロ短調



イギリス音楽に造詣の深い藤岡幸夫を招いての音楽会。ヴォーン・ウィリアムスでは時代を過去に遡り、当時を喚起する静謐な弦の響きを、ウォルトンでは血が滾(たぎ)るような荒ぶる野心を堪能できます。共にイギリス楽壇を牽引しようとする熱い想いが胸を打ちます。

それぞれ開演10分前より、出演者による
プレ・コンサート・トークを予定しております。

◆ 託児サービス

託児所を設置します(有料/要予約・公演の3日前まで)
お問合せは山響チケットサービス TEL023-625-2204まで

■ 第208回定期演奏会・第209回定期演奏会について

※会員の方には座席指定券の事前交換を開場2時間前より会場窓口にて行います。
※未就学児童の同伴入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ご予約・お問い合わせ

山響チケットサービス

TEL023-625-2204

(土曜・日曜・祝祭日を除くAM10:00~PM5:00まで)

E-mail ticket@yamakyo.or.jp

入場料

A席(指定)	B席(自由)	学生※(自由)	ペア(自由)
¥4,500	¥4,000	¥2,500	¥7,000

【当日券は500円増】※24歳までの学生の方 ●未就学児の入場はできません

発売場所

○山形プレイガイド ○富岡本店 ○大沼
○八文字屋Pool ○TENDO八文字屋
○中合十字屋山形店 ○辻楽器店
○カフェレストラン「アランフェス」 ○山形テルサ事務局

山形交響楽団では、学生の方々にもっと気軽に演奏会を楽しんでいただくために、当日、当日券を販売できる公演に限り、学生券1,000円で開演10分前より販売いたします。※購入の際には学生証が必要です。

主催／(社)山形交響楽協会 後援／山形県・山形市・山形県教育委員会・山形市教育委員会・山形新聞・山形放送・山形テレビ・テレビユー山形・さくらんぼテレビ・NHK山形放送局



平成22年度
文化庁芸術振興費補助金
(芸術創造活動特別推進事業)

Yamagata Symphony Orchestra

第208回定期演奏会



指揮
飯森 範親
(山響音楽監督)

桐朋学園大学卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積む。94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、大阪・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03年、NHK交響楽団定期演奏会でマーラー：交響曲第1番を指揮し、年間ベスト10コンサートに選ばれる。04年シーズンより山形交響楽団の常任指揮者に着任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げている。大きな注目が集まる中、07年より音楽監督に就任した。

海外ではフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコフィル、プラハ響、モスクワ放送響、ホノルル響など世界的なオーケストラを指揮。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督に就任、日本人指揮者とドイツのオーケストラの組み合わせとしては史上初の快挙となる「ベートーヴェン交響曲全曲」のCDをリリースした。さらに06年日本ツアーを成功に導いたことも記憶に新しい。国内外の多くのオーケストラとの間に築かれた類稀な信頼関係、信頼を裏付ける着実な活動の輪の広がりが高く評価され、05年「渡邊暁雄音楽基金音楽賞」を受賞。さらに東京交響楽団定期演奏会におけるヤナーチェク「マクロブス家の秘事」をはじめとする、近現代作品や日本人作品の初演・再演に対する業績により、06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度 中島健蔵音楽賞を相次いで受賞した。

現在、山形交響楽団音楽監督、東京交響楽団正指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団名誉指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。



ソプラノ
中丸 三千繪

1986年、小澤征爾指揮、R.シュトラウス「エレクトラ」のタイトルロールでデビュー。1987年イタリアに渡り、1998年第3回「ルチアーノ・パヴァロッティ・コンクール」優勝。「ラ・ボエーム」(ミミ)でヨーロッパデビュー。同年、第4回「マリア・カニリア・コンクール」及び第27回「フランチェスコ・パオロ・ネリア・コンクール」優勝。これを機にミラノ・スカラ座と出演契約を結ぶ。1989年「愛の妙薬」でルチアーノ・パヴァロッティと共演し、アメリカデビュー。1990年、「マリア・カラス国際声楽コンクール」(RAI主催)に優勝。

以来、ミラノ・スカラ座、ボローニャ歌劇場、ナポリ・サンカルロ歌劇場、テアトロ・コムナーレ、リヨン歌劇場、キーロフ歌劇場、サン・カルロス歌劇場(リスボン)をはじめとする世界各国の歌劇場で、ケント・ナガノ、ジェルメティ、マゼール、ブラッソン、パヴァロッティ、ドミンゴ、クーラ等、当代一流の音楽家と共演。1994年、ベルサイユ宮殿での英仏両政府主催チャリティ親善コンサートに、フランス代表として出演。

日本においても、リサイタルやオーケストラとの共演のほか、病院コンサートをはじめとするチャリティ活動にも力を入れている。近年では、モノオペラ「悲嘆 Grief」(三枝成彰作曲/サー・アーノルド・ウェスカー演出)世界初演、グランシップ開館10周年記念事業「椿姫」(鈴木忠志演出)に出演するなど、日本におけるオペラ活動に積極的に取り組んでいる。2006年、イタリア文化への貢献が評価され、「イタリア連帯の星」勲章コメンダトーレ章がイタリア大統領より授与された。2010年、ビルケント交響楽団(トルコ・アンカラ)に招聘され、リサイタルを開催予定。

桐朋学園大学特任教授として、後進の指導にもあたっている。

第209回定期演奏会



指揮
藤岡 幸夫

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。指揮法を故渡邊暁雄、小林研一郎、松尾葉子に師事。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶応義塾大学文学部卒。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。日本フィル指揮研究員を経て1990年に渡英。1992年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかかわらず特例で受賞。同年ルトスワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。

1993年BBCフィルハーモニックの定期演奏会に出演、「タイムズ」紙などで高く評価され1994年に同オーケストラの副指揮者に就任。1994年にロンドンの夏恒例の名物「プロムス」に同オケを振ってデビュー、大成功を収める。以後ロイヤルフィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ボーンマス響、ハレ管、トゥルーズ歌劇場管、ノルウェー放送響、メルボルン響、アルスター管、ゲーブル響(スウェーデン)、スウェーデン室内管、クィーンズランド管、国立ニュージーランド響等に客演。2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場にて「ねじの回転」でスペイン・オペラにデビュー、その上演が2006年度スペインの新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。2009年には同劇場にて「ナクソス島のアリアドネ」で再客演、ふたたび大成功を収め、すぐに2014年の「蝶々夫人」の客演が決まった。

1995年より2000年までマンチェスター室内管弦楽団首席指揮者。1995年に日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で日本デビュー、同年に指揮者に就任、2003年2月まで務める。2000年より関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者を務め、その後2007年4月より同管弦楽団の首席指揮者に就任。関西フィルとは「Meet the classic」や「ザッヒャーの遺産」シリーズなど斬新な企画で新風を巻き起こしている。英シャンドスと契約、これまでにBBCフィルとCDを7枚リリース。2002年度渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。



ヴァイオリン
二村 英仁

東京生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。9歳から16歳まで毎夏渡米し、ジュリアード音楽院の故ドロシー・ディレイ女史に個人教授を受けた。11歳の時に名指揮者故ユージン・オマンディー氏に激賞され将来を嘱望される。東京芸術大学附属高校を経て同大学卒業。1995年日本国際音楽コンクール優勝。1996年出光音楽賞受賞。同年より主に海外において演奏活動を開始し、欧州の重要なホールにて成功をおさめてきた。

1998年国連より日本人として初の「ユネスコ平和芸術家」に任命され、サラエボ・コンボ・パレスチナ等で演奏。2000年には「音楽にできること〜ヴァイオリニスト二村英仁〜」としてNHK総合、BS2では3夜連続の二時間番組でドキュメンタリーが放送された。その後もKDD「プロジェクト001」ブラ編のCM、「徹子の部屋」「筑紫哲也NEWS23」「東急ジルベスターコンサート」「題名のない音楽会」「スタジオパーク」「リ・フレ」等の出演をはじめ多数のテレビ・雑誌等のメディアに取り上げられた他、NHKドラマシリーズ「夢みる葡萄」のメインテーマやエンディングテーマ等の演奏も手懸けた。その他の主なテレビ作品に「封印された旋律」(BS-iハイビジョン国際映画祭入賞作品)。CDはこれまでに「音楽にできること」「時空をこえて」、イギリス・ロイヤルフィルハーモニック管弦楽団との共演で「スカーレット・メロディ〜緋色の旋律」の3枚をソニー・クラシカルよりリリースしている。

次回定期演奏会のお知らせ

第210回 定期演奏会

◆山形テルサホール

2011年1月22日(土) 19:00開演

2011年1月23日(日) 16:00開演

指揮：飯森範親 マリンバ：三村奈々恵

「魚座の音楽家たち」

ショパン：「レ・シルフィード」(グラスノフ編)

吉松 隆：新作(マリンバ協奏曲)

リムスキー=コルサコフ：交響曲 第2番 作品9「アンターール」

第211回 定期演奏会

◆山形県民会館

2011年3月12日(土) 19:00開演

指揮：イジー・シュトルツ チェロ：遠藤真理

「スラヴの陰影」

スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」

マルティヌー：チェロ協奏曲 第1番(1955年 改訂版)

ドヴォルザーク：交響曲 第7番 二短調 作品70